

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成25年7月18日(2013.7.18)

【公開番号】特開2011-255527(P2011-255527A)

【公開日】平成23年12月22日(2011.12.22)

【年通号数】公開・登録公報2011-051

【出願番号】特願2010-129560(P2010-129560)

【国際特許分類】

B 32B 27/36 (2006.01)

【F I】

B 32B 27/36

【手続補正書】

【提出日】平成25年5月30日(2013.5.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも2層以上のポリエステルからなる層が積層された積層ポリエステルフィルムであって、両最表層のうち単位体積あたりの粒子数が多い最表層を層Aもう一方の最表層を層Bとしたとき、層Aおよび層Bの粒子体積の比(層A/層B)が3.0以上であり、かつ、層Bの表面の中心線平均粗さS Raが5~25nm、十点平均粗さS Rzが100~400nmであり、かつ、フィルムの厚みが25~55μmである二軸配向積層ポリエス

テルフィルム。

【請求項2】

フィルム表面に塗布層を有しない状態で160、30分の加熱処理後の層Aの表面に析出するオリゴマー量が6.0mg/m²以下であることを特徴とする請求項1に記載の二軸配向積層ポリエステルフィルム。

【請求項3】

層間絶縁樹脂支持体用として使用される請求項1または2に記載の二軸配向積層ポリエス

テルフィルム。

【請求項4】

150 熱収縮率が一方の方向で1.0~2.5%、該一方の方向に直交する方向で0.3%~1.0%である請求項1~3の何れかに記載の二軸配向積層ポリエステルフィルム。

【請求項5】

請求項1~4の何れか記載の二軸配向積層ポリエステルの層B側表面に直接または離型層を介して層間絶縁樹脂層が設けられていることを特徴とする層間絶縁樹脂形成材。